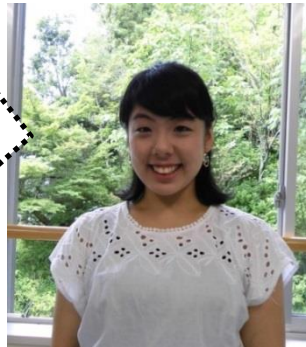


GLOBAL REPORT

今月は、本校を卒業してまだ数年の先輩へのインタビューと、国際交流員のアンナさんのご紹介です。

【本校 64 期卒：石川絵美子氏】

Hi guys! こんにちは、出雲高校卒業生の石川です。都会に出るのが怖くて島根にいた私ですが、勇気を振り絞って外に飛び出した結果、一気に世界が広がりました。皆さんも自分で枠を決めることなく色々なことにチャレンジしてみてくださいね！



島根大学 法文学科言語文学部 英米ヨーロッパ分野専攻

フロリダ大学に短期（3週間）と長期（9ヶ月）の留学を終えて、今年の5月に帰国。石川さんは、島大からフロリダ大学への長期留学一期生としての体験を、いきいきと話してくださった。



アメリカンフットボールを友人たちと観戦中

シェアアパートメントで現地の学生3名と9ヶ月間過ごした。アパートの契約が1年間だったため、残り3ヶ月分を自分の代わりに住んでくれる人を探すのにとっても苦労したとか。英語は、高校では苦手だったそうだが、CHESSという英語国際交流キャンプに参加することをきっかけにとっても好きになった。今、教室のどこかにチラシがあるかもしれません。紙一枚であなたの人生が変わるかも？！

＜アメリカの学生は授業に対してとても積極的＞

自ら手を挙げて自分の意見を先生に述べたり、分からない点は率直に質問したりする学生がととても多かった。ディスカッションの時間が多く、自分の意見を的確に述べることや、相手の意見を真摯に聞くことが求められた。また、アメリカでは自分の興味に合わせて、入学後いつでも専攻変更が可能なこともうらやましいと感じた点だ。

＜日本の大学では学ぶことができない授業を履修することも留学の魅力＞

とは言うものの、英語を留学先で学ぼうと思って留学に行くについて行けない場合もあるので、日本にいる時からアカデミックレベルの英語力が必要。絵美子さんは、お風呂の中で英単語を覚えるなどたくさんの努力を重ねていたのも、アメリカでの日常会話には困らなかったそう。ただ、“Squrell”の発音だけは、今も練習中という。

今年の秋には、母校の中学校で英語の教育実習をする予定だ。今から、英語のレッスンのための準備を始めている。将来は、（どの国やどの地域でも）とにかく国をまたいで仕事をしたい！

と、とても前向きで、エネルギーで、グローバルな先輩の石川絵美子さんのこれからは、とても楽しみだ。



フロリダ大学のキャンパスにある
マスコットキャラクター